

タイトル： クロエとオオエ 著者：有川 浩

PN：H

コメント

王道のお仕事ラブコメディで楽しく読めます。

WEB でジュエリーの実物が見られてうれしいです。

タイトル： 汝、星の如く 著者：凧良ゆう

PN：M

コメント

ままならない人生をたくましく生きぬいていこうとする2人の、

闘いと愛の物語。番外編「星を編む」も含めてぜひ

手に取ってみて下さい。

タイトル： 名探偵のままでいて 著者：小西マサテル

PN：なかいせんせい

コメント

孫娘「楓」が持ち込む様々な謎に、現場に行かずとも挑む祖父。

認知症の老人が発する「物語」が、果たして真相なのか、それとも…。

第21回「このミステリーがすごい！」大賞を受賞した安楽椅子探偵

ものの傑作。

読後の充実感をぜひ。

タイトル： かがやけいのち！みらいちゃん 著者：今西乃子

PN：♡ビションフリーゼ♡

コメント

かがやけいのち！みらいちゃんは、右目のけがと足がないじょうきょう

ですてられた子犬「みらいちゃん」が、新しい家族、かいぬしと出会いが

あって、元気を取りもどし、命がかがやいていくかندوقするものがた

りです。

私は、かがやけ命みらいちゃんの本をよんで、命のことがよく分かりま

した。

この本は、よく学校の図書室とかにあります。

タイトル： 君が手にするはずだった黄金について 著者：小川哲

PN：めがね コアラ

コメント

正直プロローグで挫折しそうになったけど読み進めるといつのまにか

どっぴりと。

小説家が主人公の連作短編集。どこまでが本当なのか訳がわからなく

なったけどそんな事はどうでもいい。「小川哲」という作家にどっぴ

りはまった。そんな一冊。

タイトル： エマはみならいマーメイド 著者：ミラング・ジョーンズ

PN：M

コメント

わたしがマーメイドがすきだしおもしろいからです。

タイトル： 傷モノの花嫁 著者：友麻碧

PN：無調整豆乳

コメント

「かくりよ宿飯」など有名作品を数多く生み出してきた友麻先生の作品で、今回もドキドキの展開と恋の展開と妖怪達から目が離せない作品です。

マンガ化もしており手に取りやすいのでマンガからでも◎。

友麻先生の書く小説ならではの楽しさを味わいたいなら小説も◎。

世界線の似た作品が多くあることも魅力的な所なので、この作品を機に友麻先生の他作品にも！

タイトル： 君の六月は凍る 著者：王谷晶

PN：Yukipitasu

コメント

発売直後、六月以内に読んだ。

表題作は読んでいる途中で自分の想像する見た目や性別が特に意味も無くコロコロ変わった。男同士、女同士、たまに男女。

性別以外も具体性のない感じで不思議な読みごちだった。

想像に委ねられる部分が多いのに、想像しにくいわけではなく、情景がけっこうはっきり見れるようなのが不思議。

タイトル： 5秒後に意外な結末 著者：桃戸ハル

PN：ぬいまる

コメント

本が苦手な人でも短編集なので1日1話は読めると思います。

ぜひ読んでほしいです。

タイトル： 数学良問 著者：宇佐見天彗

PN：モモ タロウ

コメント

一見、難しそうな問題、どこから手をつければ良いのか分からない問題でも、少し角度を変えてみたり、とりあえず条件に合う例を試してみたり…。

と、ちょっとした手掛かりをみつけることで雲間から光が射すように答えへの道筋が見えてくる。

中学までの知識で東大入試問題も解けたりする。少し頭が良くなった気がします。

タイトル：皇后の碧 著者：阿部智里

PN：Lost

コメント

「八咫鳥シリーズ」でおなじみの阿部先生の新ファンタジー。

土、風、鳥、蟲などの精霊達。孔雀王や蜻蛉帝。

その世界観に浸り、一気に読みました。

ただ美しい物語だけでなく、終わりには阿部先生ならではの驚きが!!

タイトル：天神さまの花いちもんめ 著者：嗣人

PN：Charo

コメント

太宰府天満宮が出てきたり、宝満山、アクロス福岡、警固神社など福岡の人なら誰でも知っている名前がよく出てきます。

そんな街で生活している神さまの日常。家電に詳しい神さま、お酒大好きな神さま。

最後はちょっと泣けて心あたたまる小説です。

タイトル： 傷モノの花嫁 著者：友麻碧

PN：無調整豆乳

コメント

「かくりよ宿飯」など有名作品を数多く生み出してきた友麻先生の作品で、今回もドキドキの展開と恋の展開と妖怪達から目が離せない作品です。

マンガ化もしており手に取りやすいのでマンガからでも◎。

友麻先生の書く小説ならではの楽しさを味わいたいなら小説も◎。

世界線の似た作品が多くあることも魅力的な所なので、この作品を機に友麻先生の他作品にも！

タイトル： イクサガミ 著者：今村翔吾

PN：り。

コメント

漫画のバトルシーンをずっと読んでいるみたいで、一気に読んでしまいました。

ストーリーもとても楽しく、読書を普段あまりしない人にもオススメです。

タイトル： 蜜蜂と遠雷 著者：恩田陸

PN：魔女 Book

コメント

本から音楽を楽しめる一冊！！

主人公4名によるピアノコンクールでの戦い。

コンクール会場で戦いを見て、聴いてる感じがする本です！

タイトル： うみみたい 著者：水沢なお

PN：Yukipitasu

コメント

「生まれたくなかった」

生の押し付けに理不尽さを感じた事がある人におすすめ。

それを感じる私が見てもみみさんの語る話や視点が独特でおもしろかった。

反出生主義的な考えを持つミュウツーが人間の都合でぬいぐるみ等を大量生産されているなんて確かに皮肉と思いながらミュウツーを今日愛でる。

タイトル： むかしむかしあるところに死体がありました。

著者：青柳碧人

PN：NGO

コメント

みんなが知っている昔話なのに、途中からお話の展開がどんどん変わっていきます。

死体が出てくるのに、怖くないので、怖い話が苦手な人にもおすすめです。

タイトル： ウソカレ!? 著者：こうべはるま

PN：春

コメント

面白くて、ドキドキするので、ぜひ読んでみてください。

三角関係などの恋のあるあるです。

タイトル：失われた貌 著者：櫻日智也

PN：はちまる

コメント

ミステリファンにぜひ読んでほしい一冊です。

帯の推薦文にひかれて読みましたが、最後まで一気に読みました。

最高のどんでん返し！今のところ今年読んだ中でベスト1です！

タイトル：法廷占拠-爆弾 2 著者：呉勝浩

PN：うっちー

コメント

映画化された「爆弾」の続編。

スズキ タゴサクファンにはたまらない作品です。

気になっていたあの人達も登場します。

タイトル：サイレントシンガー 著者：小川 洋子

PN：雨カプ

コメント

言葉が少ないぶん、風景や日常の音の表現が多く、想像しやすいです。

登場人物に名前が無い人が多く主人公（リリカ）目線でのあだなのような呼び方が

おもしろいです。

タイトル：オーブランの少女 著者：深緑野分

PN：O. アンリ

コメント

オーブランに暮らす老姉妹の謎から始まり、予想していなかった結末に驚きました。

この本で深緑野分という作家を知り、ファンになった思い出の一冊です。

タイトル：成瀬は天下を取りにいく 著者：宮島未奈

PN：英心

コメント

一気に読める一冊です、中学生、高校生に読んでほしい。昔、中高生だった人にも。

タイトルと始まり方が秀色。本屋大賞受賞はダテじゃない。

我が道をいく成瀬あかりと、見守る友人や家族が素晴らしい。

この関係性かいいです。

タイトル：アリアドネの声 著者：井上真偽

PN：スインチ

コメント

感動と歓喜あふれる災害救助ミステリー。

災害で地下に1名残された。上から火災、下から浸水迫り、リミットは6時間。ダクトからドローン入れシェルターに誘導すれば助かるが、彼女は「目が見えず耳も聞えない」加えさらなる絶望が…。

タイトル：スターゲイザー 著者：佐原ひかり

PN：Seablue

コメント

デビューを目指す6人の男子のお話。6人はそれぞれどの道を通して、これからどのような道を通っていくのか。推しがいる人はぜひ読むべき作品だと思います！

タイトル：わたしの幸せな結婚 著者：顎木あくみ

PN：sato♪

コメント

アニメ、実写化されている作品です。シンデレラストーリーではありませんが、物語の細部までこだわりを感じ、読んでいて非常に満足できます。アニメ、実写にはなかった続きが読めるので、そちらで先に本書の存在を知った方にもぜひ読んでみてほしい1冊です。

タイトル：宙ごはん 著者：町田そのこ

PN：いのっち

コメント

相手のことを思って作られるごはんのあたたかさと、佐伯さんの優しさにいやされました。

タイトル：びじゅチューン！ DVD BOOK（7）

著者：井上涼+NHK びじゅチューン！制作班

PN：nakachan

コメント

NHK Eテレの人気番組『びじゅチューン！』の楽曲が解説付きで文字でも楽しめちゃう1冊です。作詞・作曲・歌・アニメーションをすべて一人で担当する井上涼さんが、みんな知ってるような超有名アートを涼さんが独特のユニークな世界観でオリジナル作品に仕上げてて、すごい人です。天才！鬼才です。まだ見たことない人は、絶対に1回は見てほしい！

タイトル：怪盗レッド 著者：秋木真

PN：なおき

コメント

正義の怪盗である怪盗レッドのアスカとケイが悪事を止める物語です。特にケイが悪事を暴くところがお気に入りです。無理難題の問題でも簡単に解くのが好きです。

タイトル：世界のかけら図鑑 著者：古河郁

PN：

コメント

この本を選んだ理由はオールトの雲がきれいだったからです。太陽系をぐるりと取り囲む雲の絵がずっと見ていられるほどきれいだったからです。なのでみなさんもぜひこの本を読んでオールトの雲を見てください。

タイトル：ものがたり洋菓子店 月と私 著者：野村美月

PN：美琴

コメント

この本の好きなところは、まず表紙です。淡い水色に優しいタッチのレモンケーキ。これは癒されます。内容はスイーツ x 短編集なので難しく考えることもなくさらっと読めます。私はこのお話の中で第1話が共感できる部分が多く、最後は穏やかなハッピーエンドで良かったです。

タイトル：墓じまいラプソディ

著者：垣谷美雨

PN：ルーク

コメント

お墓が大事な人には墓じまいは許せない相談だろうけど、実にやっかいな問題でもある。テンポよく語り手を変えることで、それぞれの立場からお墓問題を考えさせられるから、これからもめる予定の人に超オススメ！ 主人公が元ヤン×60代主婦だから、その容赦ない発言に何度も吹き出してしまった。見てほしい！

タイトル：ひまわり 著者：新川帆立

PN：ぶん吉

コメント

突然の事故で身体の不自由を失ったひまり。社会復帰を目指す中で様々な壁にぶつかる。「前例がないなら、前例を作ればいい！」「失くしたのではなく、残ったもので戦え。」前へ前へと進んでいこうとするひまりに、読んでいる自分が勇気をもらえる。パワーのあるストーリーをぜひ！

タイトル：かごいっばいに詰め込んで 著者：真下みこと

PN：まゆこ

コメント

専業主婦からスーパーのレジで働くことになった主人公。レジでお客さんと話をすることで、お客さんの日常にふれたり、美奈子（主人公）自身が成長する物語。（おしゃべりなレジ係）。本の表紙もすごい素敵です。思わず手に取ってしまいそう！

タイトル：幾世の鈴 あきない世傳 金と銀 特別巻（下） 著者：高田郁

PN：えいこ

コメント

奉公に出た女の子が大店の店主に成長する本編のサイドストーリー。気になっていた人々のお話を読めます。この人たちにもう会えないと思うと、さみしいです。

タイトル：王子とこじき

著者：マーク・トウェイン

PN：なおか

コメント

この物語は、貧しい少年トムと王子エドワードが入れ替わるお話。二人は顔がそっくり！！王子は人々から暴力を受けたり、怖～い人達に追われたり…。一方トムは王子様の生活を経験し夢を叶えたり！！しかし、そんな二人は波乱に巻き込まれてゆきます！はたして誠実に生きるとは？この物語は二人が入れ替わった事を知らない大人達の視点から物事の本質を見分ける力を学べます！

タイトル：近くも遠くもゆるり旅 著者：益田ミリ

PN：たんぽぽ

コメント

『どこに行っても、のんびり自由な旅エッセイ。』本の帯の惹句に目がとまる。

益田ミリさんのカラフルなイラストもかわいく、四コマ漫画も楽しい。長野の上田と軽井沢、大阪、岡山の倉敷など国内に留まらず、海外も含め17ヶ所もの旅エッセイ。この本を傍らに『近くも遠くもゆるり旅』へと出かけたい。

タイトル：何のために生まれてきたの？ 著者：やなせたかし

PN：くう

コメント

30代で大手術して、もうすぐ60歳です。
手術してから今でも心と体も病んでいてずっと何のために生まれてきたのかわからず、もういいやと思っていた時、この本を読んで人生これからかなあ？
と思わされた一冊でした。

タイトル：杜子春、蜘蛛の糸 著者：芥川龍之介

PN：羊男

コメント

この本の収録された作品は、ほとんど百年前、大正時代に赤い鳥を含む雑誌に掲載されを掌編作品で、子供、特に中高年生でも読みやすい内容で、一度は手に取られた事があると思われます。
特に、表題の蜘蛛の糸と杜子春は、自分の自己的欲求を捨てられるかで明暗が分かれる結末を迎えていて、対比して読むと面白いと思い選びました。

タイトル：存在のすべてを 著者：塩田武士

PN：サンディ

コメント

白くてシンプルな装丁と印象的なタイトル。
まだ幼くして誘拐された少年亮君の描写は物語を清潔にしているようでした。
何が彼の身に起こっていたのか、読み進めるほどに引き込まれました。
段々判明してくる人々は、不気味さの中、意外にも柔らかい光のようでした。
特に男の子のいる親にジーンと来る結末だと思いました。
新聞記者物の臨場感もあり、おすすめです。

タイトル：愛される書店をつくるために僕が2000日間考え続けたこと

著者：ハヤシユタカ

PN：フタバガチ勢

コメント

本が売れない時代に15分で3,000冊売った有隣堂YouTubeのプロデューサー、ハヤシユタカさんの本です。企業YouTubeとして成功するまでの経緯、工夫、失敗、試行錯誤が語られています。元々、あまり本を読まない私でもとても読みやすく、YouTubeチャンネル「有隣堂しか知らない世界」にハマっていたため、臨場感も親近感もあり、とても楽しく読めました。本は売れない、という常識になりつつある現在に顧客、従業員、商品、会社への愛情と情熱で立ち向かってきた姿勢がユーモアを交えて書かれています。

タイトル：カレーライス丸かじり 著者：東海林さだお

PN：てけてけ5円玉

コメント

ショージくんの丸かじりシリーズです。
コロナ後も元気いっぱい。年齢を感じさせない着眼点でジョージ節さくれつ!!
クスツと笑える内容で公共交通機関の車内では油断禁物！
この先、何年もショージくんには頑張ってもらいたいです。

タイトル：龍ノ国幻想 著者：三川みり

PN：みーちゃん

コメント

大人のファンタジーが好きです。その中で「十二国記」や「鳥は主を選ばない」とともにハマったのがこの作品です。

現実の中では起こりえない世界観など、それぞれの登場人物の心情が痛いほど伝わってくる作品でした。今でいう男女の立場が逆転していたり自分と違う能力への畏怖だったり、世の中の理不尽に抗う勇氣は今の世の中でも通じるものがあり共感できます。

日織と悠花の愛の描き方も素敵です。とにかく頭の中に情景が浮かび、キャラクターが躍動しストーリーに引き込まれていくのです。あっという間に8巻を読み終えました。次回の作品が待ち遠しいです。

タイトル：そして花子は過去になる 著者：木爾 チレン

PN：海

コメント

トラウマで引きこもっている花子のお話です。

最初は暗い雰囲気ですが、物語が進むにつれ花子の心も成長しだんだん明るい雰囲気になっていきます。

可愛いコスメだったり、お洋服だったりも登場するので、とてもわくわくした気持ちになります。

凄く複雑な気持ちを抱える10代の女の子に読んでほしい作品です。

タイトル：架空犯 著者：東野圭吾

PN：Yuuki

コメント

『白鳥とコウモリ』を読んでいたので、『架空犯』も読みました。

警察官の行動と思考が、読み手が一緒になって捜査しているような錯覚をおこさせ、謎が少しずつ解けていく。楽しく読み進めることができました。

タイトル：蛍たちの祈り 著者：町田そのこ

PN：Emi

コメント

町田そのこさんの本が好きなので、新刊が出たらすぐ購入しています。

今作も面白かったです。5章からなる連作短編で、

暗い話が続くし読んでいてしんどいけど、その中に一筋の光があり、救いがあるからこそ読み切れました。美しい終わり方でした。

タイトル：私たちは売りたいくない！ 著者：チーム K

PN：まりりん

コメント

沢山の死者、今も後遺症で苦しんでいる人達がいるにもかかわらず、まだ推奨を止めない政府。

コロナワクチン、打った人も打ってない人もぜひ読んで欲しいです。次々と新しいワクチンがこれから出ます。絶対参考になります。

タイトル：壁をブチ破る天才 100 の言葉 著者：真山 知幸

PN：ともたん

コメント

”天才は狂気だ”という本の帯に書かれている通り、

常人には想像もつかない発言が散りばめられた刺激的な本でした。

非日常に生きざるを得なかった数々の天才たちの”嘆きの言葉”にもとれるような 気がします。悲しくも美しい言葉たちを紹介して下さいありがとうございます。

タイトル：アルツ村 閉ざされた楽園 著者：南杏子

PN：あすなろ

コメント

閉ざされた認知村の楽園とはどんな場所だったのか。

明日香は娘のリサを連れてこの村へ迷い込んで生活することになった。認知症とはいろいろな症状があらわれる事、精神的な混乱など幻想の症状もあるということもこの本で理解出来ました。

明日香は交通事故で娘のリサを失うのですがリサは生存していると思い、いつもリサに寄りそっていました。アルツ村では明日香はリサと一緒に笑顔で過ごせる場所でした。でも実は認知症の人々を人体実験する施設や医者 of 裏の顔がありフィクションであるけどそらおそろしい物語でした。

タイトル：わかったさんのスイートポテト 著者：永井郁子

PN：ママちゃん

コメント

33 年ぶりに「わかったさん」の新シリーズがスタートし、子どもの頃を思い出して懐かしくなりました。

美味しいお菓子のお話だけではなく、大人になってから読むとツッコミどころ満載な展開とわかったさんの毒っぶりも面白いです。子どもと読みたい一冊です。

タイトル：アルツ村 閉ざされた楽園 著者：南杏子

PN：あすなろ

コメント

閉ざされた認知村の楽園とはどんな場所だったのか。

明日香は娘のリサを連れてこの村へ迷い込んで生活することになった。認知症とはいろいろな症状があらわれる事、精神的な混乱など幻想の症状もあるということもこの本で理解出来ました。

明日香は交通事故で娘のリサを失うのですがリサは生存していると思い、いつもリサに寄りそっていました。アルツ村では明日香はリサと一緒に笑顔で過ごせる場所でした。でも実は認知症の人々を人体実験する施設や医者 of 裏の顔がありフィクションであるけどそらおそろしい物語でした。

タイトル：やりたいことは全部やりなさい 著者：森永卓郎

PN：ともたん

コメント

資本主義の荒波に揉まれながら見事にその波を泳ぎ切り絶滅の運命をはらむ資本の世界を否定しきった森永さん。

体験に基づく「お金」の負の側面を痛いほどに何度も読み返しました。彼の理想には程遠いけれど、毎日を謙虚に過ぎたことをせずに穏やかに生きていこうと改めて思うきっかけになりました。

合掌。

タイトル：わかったさんのスイートポテト 著者：永井郁子

PN：ママちゃん

コメント

33 年ぶりに「わかったさん」の新シリーズがスタートし、子どもの頃を思い出して懐かしくなりました。

美味しいお菓子のお話だけではなく、大人になってから読むとツッコミどころ満載な展開とわかったさんの毒っぶりも面白いです。子どもと読みたい一冊です。

タイトル：やりたいことは全部やりなさい 著者：森永卓郎

PN：ともたん

コメント

資本主義の荒波に揉まれながら見事にその波を泳ぎ切り絶滅の運命をはらむ資本の世界を否定しきった森永さん。

体験に基づく「お金」の負の側面を痛いほどに何度も読み返しました。彼の理想には程遠いけれど、毎日を謙虚に過ぎたことをせずに穏やかに生きていこうと改めて思うきっかけになりました。

合掌。

タイトル：二人一組になってください 著者：木爾チレン

PN：かな

コメント

私がおすすめする理由はクラスのカースト（1 軍、2 軍、3 軍）があり、現実的な人間関係の生々しさが味わえました。現実にはないようなじめのなくし方で、どれだけいじめがいけないものだということがあらためて分かりました。

タイトル：Die with ZERO 著者：ビル・パーキンス

PN：イオン

コメント

ゼロで死ぬ。それは生きているうちにお金や時間を使って様々な経験をする事。

これまで「将来のために」「老後のために」と今の日々を我慢・節約していた自分には衝撃でした。

一番大事なのは元気に動ける「今」で、そこに投資をしない事が何よりもリスクとなる事を知り、旅を趣味にしました。